

欧米の医学雑誌は、総説、原著、症例報告などの投稿論文が主体であり、本誌のような編集委員会による特集企画が組まれることはむしろ例外的である。もちろん、本誌でも創刊以来、会員からの投稿論文だけで雑誌を構成することを理想としているのだが、種々の事情から特集企画も組まざるを得ず、今日に至っている。本号は、会員からの投稿論文だけで埋め尽くすことができたという点で画期的なことである。本誌は発刊以来、reviewed journal の形をとっているの、投稿された論文をすべて掲載するわけにはいかないが、質の高い論文は極力採用するようにしているので、今後とも良い原著、症例報告、手術手技、工夫などをご投稿いただきたいと望んでいる。会員からの投稿論文だけで本誌のすべての号が埋めつくされる日が、1日も早く来ることが期待される。

さて、わが国の医学研究、医療のレベルは関係者の不断努力により国際的にみても今やトップレベルにある。去る6月、シンガポールで第7回世界内視鏡外科学会が開かれたが、その際の研究発表を聞いていても、内視鏡外科領域においてわが国が世界をリードしているとの感を深めた。また、欧米のいろいろな学

術誌に発表される論文数の推移をみても、わが国からの論文はさらに増加傾向が続いている。これらのことは大変に喜ばしいことであるが、一方では、わが国で生まれた質の高い研究が欧米の一流学術誌に英文で発表され、わが国の邦文誌には良い論文が減少してしまうという邦文誌の空洞化が起きていることも事実である。特に学会の邦文機関誌では、このことは大変に深刻な問題である。

国際化が進む現状では、そんなことは大して問題ではないという見方もあるだろうが、誰もが手軽に読めるのはやはり日本語の論文である。学会の機関誌であれば、会員1人1人のところに送られてくるという利便性もある。

最近、米国の外科系雑誌の編集者たちが集まって「二重投稿、不正投稿防止のためのガイドライン」がまとめられつつある。そのなかに「Non-English Journalに英文以外の外国語で発表された論文の内容を、英語に書き直してEnglish Journalに投稿しても、参考文献に元の論文が挙げてあり、すでに外国語で発表したことが明記されていれば二重投稿とはみなさない」という一項が入る予定である。このことが明文化されれば、例えば本誌「日鏡外会誌」に日本語で発表した論文を、のちに英文にして米国の雑誌に投稿することも可能となり、邦文の学会誌が一層充実し、会員にとっても大変便利になることが期待できる。今年の10月に最終案がまとめられることになっているので、今から期待している。

(出月康夫)

日本内視鏡外科学会雑誌 (第5巻 第4号) 2000年8月15日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

1部定価：会員には毎号送付されます。その他については、1部定価（本体2,600円＋税）（配送料110円）となります。

2000年 年々ぎめ予約購読料：16,380円（配送料：医学書院負担）

編集・発行：日本内視鏡外科学会（代表：出月康夫）

〒113-8622 東京都文京区本駒込 5-16-9（財）日本学会事務センター内

☎ 03-5814-5801 Fax 03-5814-5820 担当：高柳 <http://www.mic.med.tohoku.ac.jp/jses/>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 5-16-9 Honkomagome Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8622, Japan

© 2000, Printed in Japan

発 売：株医学書院（代表：金原 優）（本誌担当：阿野，中田） <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3（振替口座 00170-9-96693 番）

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659・5660 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷㈱ ☎ 03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 ㈱文栄社 ☎ 03-3814-8541 (Fax 03-3816-0415)

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。